

# 大田区地域福祉計画（平成31（2019）年度～平成35（2023）年度）（素案）【概要版】

平成31年 1 月30日  
平成30年度第 2 回法人指導連絡会  
資料1-1

## 第1章 計画策定の概要

### 1 計画策定の背景

地域共生社会実現の必要性

### 2 計画策定の趣旨

本計画は、区がこれまで取り組んできた公的サービスが適切に行き届くよう、環境と体制の整備を行うものです。また地域福祉活動を広げたい人、始めたい人、まだ興味が持てない人が「地域でこんな活動してみたい」「自分たちの地域をもっとよくしたい」という思いを持ったとき、これに応えたいという趣旨で策定しました。

世代や分野にとらわれない公的サービスを土台として、区が誇る「地域力」を活かし、これからの大田区にふさわしい地域福祉をともに実現することをめざします。

### 3 計画の位置づけ

- 社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画
- 福祉分野の個別計画を概括する上位計画
- 社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画との連携
- 成年後見制度利用促進基本計画を包含

### 4 計画の期間

平成31（2019）年度から平成35（2023）年度の5か年

## 第2章 区の地域福祉を取り巻く状況

### 1 区のこれまでの取組み

分野ごとの施策の推進

### 2 区の現況

- (1) 区民の変化
- (2) コミュニティの変化

### 3 現状から見えた課題

- (1) 地域包括ケアシステムの一層の深化・推進の必要性
- (2) 複合的な課題への対応の必要性
- (3) 地域活動を担う人材確保・育成の必要性
- (4) 専門人材の確保と育成の必要性
- (5) 地域からの孤立を生まない地域づくりの必要性

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

**ともに支えあい**

**地域力ではぐくむ**

**安心して暮らせるまち**

### 2 基本理念を実現するために

**○複合課題に取り組む個別支援**

**○支援と共生の地域づくり**

## 第4章 計画の内容

**基本目標1 つながりが生まれる地域をめざします**

地域福祉活動に参加したいと思ったときの出番づくりや、参加したいと思わせるきっかけづくりを推進します。また、身近な地域で区民が主体となって交流や地域福祉活動ができるような拠点づくりを進めるとともに、誰にとっても参加しやすい活動が広がるよう環境を整えます。

**施策目標**

「最初の一步」のためのきっかけづくりを支援します

活動を支える「集える場」づくりを支援します

誰もが参加できる環境を広げます

**基本目標2 つながりが機能する地域をめざします**

相談者本人のみならず、その世帯を丸ごと受けとめ、課題やニーズを的確に捉えた支援を行うための庁内体制を強化します。また、見守り、支えあいを通じた課題の早期発見を地域において担うことで、区と地域の連携・協働による支援の輪を広げるとともに、そのために必要な人材の育成に努めます。

**施策目標**

包括的に受けとめる体制を強化します

連携・協働し、地域の支えあいを育みます

つながりを生み出し、コーディネートする人材育成を推進します

**基本目標3 安心して生活できる地域を支えます**

地域福祉活動の前提となる基本的な生活を支えるため、安心して利用できる福祉サービスの提供に努めます。また、違いや多様性を認め合うことが地域福祉活動の原点であるとして、誰もが包摂され、排除されない「社会的包摂」の視点に立った地域福祉の意識啓発、教育等を推進します。

**施策目標**

安心できる福祉サービスの提供をめざします

誰もが優しくなれる風土を醸成します

## 第5章 大田区成年後見制度利用促進基本計画

- 1 大田区成年後見制度利用促進基本計画策定の背景
- 2 大田区成年後見制度利用促進基本計画の位置づけ
- 3 成年後見制度について
- 4 区の現況
- 5 現状から見えた課題
- 6 大田区成年後見制度利用促進基本計画の内容

**基本目標**

住み慣れた地域の中で一人ひとりの意思が尊重され、自分らしく生き、権利が擁護される地域づくりを進めます

**施策目標**

適切に権利が守られ、メリットを実感できる環境を整備します

地域ぐるみで権利擁護支援に取り組む仕組みをつくります

誰もが安心して、成年後見制度を利用できる基盤を整備します

地域連携ネットワークのめざす姿

①支援推進体制（3層） ②ネットワーク関係機関 ③中核機関  
推進体制

## 第6章 計画の推進に向けて

### 1 地域・圏域の考え方

- 日常生活圏域（18特別出張所の区域）
- 基本圏域（4地域庁舎の区域）
- 区全域

### 2 指標の設定

### 3 計画の推進に向けたそれぞれの役割

【区の役割】

○要支援家庭等対策委員会等の庁内検討組織を活用して、複合課題の解決に向けた検討を続け、分野横断的で切れ目のない支援を行う体制を構築します。

○地域への情報提供、意識醸成、人材育成、相談業務などを通じて、地域生活課題の発生を予防し、早期発見・早期支援につなげます。

○区の施策や地域との協議の場などを、地域福祉の視点から推進することにより区民・地域活動団体等が参加しやすい環境を整備します。

【社会福祉協議会の役割】

区と連携し、地域福祉活動の推進を通じて、大田区らしい地域づくりに向けて具体的な実践を重ねます。

【地域の役割】

一人ひとりの区民や団体等が、この計画を手に取り一步を踏み出すことで、地域力の源となります。